小曽根真 ピアノソロ “クラシック×ジャズ”2018

世界を駆ける小曽根真がその響きを高く評価する福岡シンフォニーホールで、多くのジャズ・ミュージシャンをも魅了する“音楽の父”・バッハにも挑む。クラシック、ジャズ、オリジナルと時空を超えた多彩なレパートリーを、さらに磨きのかかった小曽根真のピアノソロと、日本を代表する世界的トロンボーン奏者・中川英二郎とのデュオでも堪能できる極上の一夜!

©武藤 章

スペシャルゲスト
中川英二郎
(トロンボーン)

クラシック界も注目する世界的ジャズピアニスト 小曽根真がおくる一夜限りの Classic×Jazz

2018 11.29 [木]
OPEN 18:30
START 19:00

福岡シンフォニーホール

アクロス福岡 ACROS Fukuoka
福岡市中央区天神1−1−1 アクロス福岡1階

TICKET S席¥6,500／A席¥5,000／学生(Aエリア)¥2,000
(税込／全席指定)
※学生券取扱は、アクロス福岡、ヨランダオフィスのみ

一般発売日:7月1日(日)

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※有料託児サービスあり(要予約)詳細は裏面をご覧ください。

- アクロス福岡チケットセンター TEL:092-725-9112
- ヨランダオフィス・チケットセンター (10:00〜18:00) http://yolanda-office.com/
  TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) 092-406-1771
- チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:114-172) http://t.pia.jp/
  ※セブン-イレブン、サークルKサンクスでも購入可
- ローソンチケット TEL:0570-084-008(Lコード:82551) http://l-tike.com/
  ※ローソン、ミニストップでも購入可

主催／FM FUKUOKA　ヨランダオフィス　共催／公益財団法人アクロス福岡　後援／福岡市

お問合せ 0570-033-337(ナビダイヤル) 092-406-1771
ヨランダオフィス・チケットセンター(10:00〜18:00)

©篠山紀信

クラシック界も注目する
世界的ジャズピアニスト小曽根真がおくる一夜限りの Classic×Jazz

スペシャルゲスト：中川英二郎（トロンボーン）

小曽根真（ピアノ）
Makoto Ozone

1983年バークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。

以来、ソロ・ライブをはじめゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍。

近年はクラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲で共演を重ね、「比類のない演奏で、観客は魅了され大絶賛した」（北独ハノーファー新聞）など高い評価を得ている。

2010年、ショパン生誕200年を記念したアルバム「ロード・トゥ・ショパン」を発表し同名の全国ツアーを成功させ、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与される。

2014年にはニューヨーク・フィルのソリストに抜擢され、韓国、日本、ニューヨーク公演で共演。以来、サンフランシスコ響、デトロイト響、ラビニア音楽祭（シカゴ響）に招かれるなど、米国でも躍進を続けている。

2016年には、チック・コリアとの日本で初の全国デュオ・ツアーを成功させ、17年にはゲイリー・バートンの引退記念となる日本ツアーを催行。また、秋には10年ぶりに小曽根真THE TRIOを再結成し、最新アルバム「ディメンションズ」をリリース。また、11月には再びニューヨーク・フィルに招かれ、'バーンスタイン生誕100年祭'の定期演奏会に出演。アラン・ギルバートの指揮のもと、「不安の時代」とガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」を3日連続で熱演し、リンカーン・センターの満場の聴衆から大喝采を得た。このライブ録音は、18年3月、ユニバーサル・ミュージックより「ビヨンド・ボーダーズ」と題して、小曽根真の初のクラシックアルバムとして、CDリリースを果たした。

映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え、幅広く活躍を続けている。

オフィシャルWEBサイト
http://makotoozone.com/

小曽根真、初の本格クラシック・アルバム。

BEYOND BORDER
ビヨンド・ボーダー

ニューヨーク・フィルハーモニック
指揮：アラン・ギルバート
ピアノ：小曽根真
UCCU-1568
3,000円+税
発売中!

名門オーケストラと繰り広げた、ジャンルの壁を超える感動のNY公演を収録。

《収録曲》
1. ジョージ・ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」
2-3. レナード・バーンスタイン　交響曲第2番「不安の時代」

ジャンルを超え世界規模での活躍を続ける小曽根真。2014年には、アメリカ5大オーケストラのひとつであるニューヨーク・フィルハーモニックのアジア・ツアーに初の日本人ジャズ・ピアニストとして抜擢され、その後ニューヨークでの特別公演にも出演。その成功はニューヨーク・タイムズ紙をはじめ多くのメディアで絶賛されました。

そして2017年11月2～4日、ニューヨーク・フィルの本拠地であるリンカーン・センター内のデヴィッド・ゲフィン・ホール（2,738席/旧名称エイヴリー・フィッシャー・ホール）で開催された同楽団の定期演奏会「バーンスタイン生誕100周年祭」にソリストとして出演。3日間の公演は完全ソールドアウト。連日熱演を繰り広げ、聴衆からはスタンディングオベーションの大喝采を受けました。

演奏曲は、小曽根が得意とするレパートリーのジョージ・ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」とレナード・バーンスタイン交響曲第2番「不安の時代」。

「ラプソディ・イン・ブルー」では独自のカデンツァと絶妙なアドリブ（即興演奏）が随所に散りばめられた華やかな演奏。そして「不安の時代」では、深遠な色彩とリズムに溢れた秀逸な演奏を展開しています。

中川英二郎（トロンボーン）
Eijiro Nakagawa

5歳でトロンボーンを始め、高校在学中に初リーダー作をニューヨークで録音。名だたるビッグ・アーティストとの共演を始め、映画、CM、TVなど多くの録音でも知られる。2007年、日本人として初めて米「トニー賞」授賞式に出演し2008年にはNHK連続テレビ小説『瞳』のメインテーマを演奏。国内主要オーケストラとも共演するなど、多彩な才能を発揮し、日本を代表する世界的トロンボーン奏者として幅広い活動を行っている。

2018年5月には、NYフィルの首席トロンボーン奏者、ジョセフ・アレッシとタッグを組み、NYのジャズシーンには欠かせない、マーシャル・ギルクス、オランダ放送フィルの名奏者ブラント・アテマを加えて4人の世界的トロンボーン奏者による、'Slide Monsters'を結成、CDリリースとともに初の日本全国ツアーを実施。

中川英二郎オフィシャルWEBサイト
http://www.eijiro.net/

託児サービスのご案内

託児サービス（生後4か月から小学校入学前のお子様）をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申込みください。受付は公演前日（土・日・祝日は受け付けを行いません）までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。※なお、託児料の一部としてお子様一人につき1000円をご負担いただきます。

0120-8000-29 tel.092-263-3580
（株）テノ.サポート（月～金曜日 9:00～18:00）